

Title	蠟山昌一教授 近影・略歴
Author(s)	
Citation	国際公共政策研究. 2004, 8(2)
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/5042">https://hdl.handle.net/11094/5042</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

故蠟山昌一名譽教授 追悼特集



## 故 蠟山昌一教授 略歴

昭和14年10月19日、東京に生まれる。昭和38年、東京大学経済学部卒業。昭和40年、同大学院修士課程修了。昭和41年、東京大学経済学部助手。

昭和44年、大阪大学経済学部講師。以後、経済学部助教授、経済学部教授。

平成3年7月から平成5年7月、大阪大学経済学部長。

平成6年4月、大阪大学大学院国際公共政策研究科教授に配置換え。

平成10年4月1日より国立高岡短期大学学長。

昭和58年1月、経済学博士の学位授与（大阪大学）。大阪大学名誉教授。

この間、University of Washington 客員研究員（Visiting Scholar）、日本銀行金融研究所客員研究員、University of London（School of Oriental and African Studies）客員教授（Visiting Professor）。

大学外での現職は、金融庁金融審議会委員（金融分科会会長）、金融広報中央委員会委員、公正取引委員会参与、日本証券経済研究所理事など。

平成10～11年の金融ビッグバンの立案に際しては、以下の委員会の座長、委員として参画。証取審総合部会座長（その後、市場整備部会部会長として継続の後、平成10年金融システム改革法の国会上程で解散）、金融制度調査会金融機能活性化委員会委員（上に同じ）、ノンバンク懇談会座長（平成9年6月に報告書をまとめて解散）、新しい金融の流れに関する懇談会座長（平成10年6月、報告書をまとめて解散）。

主な編著書は次の通り。『日本の金融システム』（東洋経済新報社、昭和57年）、『金融自由化』（東京大学出版社、昭和61年）、『金融自由化の経済学』（日本経済新聞社、昭和63年）、The Transition of Finance in Japan and the US: A Comparative Perspective, Hoover Institute, Stanford University, 1988、『証券用語辞典』（東洋経済新報社、平成7年）、『証券市場読本』（東洋経済新報社、平成9年）、『投資信託と資産運用』（東洋経済新報社、平成11年）。上記、『日本の金融システム』により毎日新聞社昭和58年度「エコノミスト賞」受賞。

平成15年6月19日 逝去